

市長就任あいさつ

第6代 小林市長

ほりけんじろう
堀研二郎



ずっと住みたい、誇れる小林市へ――

このたび市長として、市政運営の重責を担わせていただきます。

私たちが暮らす小林市には、素晴らしい魅力がたくさんあります。

そして、その魅力を輝かせているのは、まちの主役である「市民一人ひとり」です。

私は、小林市のまちづくりの原点である市民主体のまちづくりを協働により推し進め、市民と行政が良きパートナーとして、ともに汗を流すことで、さらに魅力あふれる

輝く小林市となるよう、その実現に向けて戦略的に取り組んでいきます。

市民が郷土に誇りを持ち、住み続けたいと思えるように、人口減少対策や担い手の育成と確保を図ります。併せて、教育や子育て環境を充実させることにより、生きる力を育み、安心して子どもを産み育てられるまちづくりを進めます。

また、これからも地域で支え合えるまちであるために、全ての世代が参加しやすい地域づくりを

進めます。

さらに、産官学の連携を深め、新たな価値を創造し、地域経済を強化するとともに、市の魅力を広げ発信していきます。

未来を担う子どもたちが小林市に誇りを持ち、ここに生まれて良かったと心から思えるように。

誰もが住み続けたい、いつか帰ってきたいと思えるまちにするために。みんなの手を取り合い、小林市の未来を一緒に拓いていきましょう。

PickUpTopics

秀峰高校新体操部が全国3位！ 10年ぶりとなる表彰台へ

小林秀峰高校新体操部が3月21日、22日に開催された全国高等学校新体操選抜大会に出場し、見事3位入賞を果たしました。同大会は、夏のインターハイに並ぶ高校新体操界の大舞台で、各地区を勝ち抜いた18チームが出場する中、全国大会の重圧を感じさせない堂々とした演技を披露。新チーム結成以来の最高得点をマークし、10年ぶりとなるメダル獲得の快挙を成し遂げました。

同部は、朝留光宏監督指導の下「歴史を一つ刻む」を目標に日々練習に励んでいます。次の目標はインターハイで全国制覇。そして、来年には日本のひなた国スポ・障スポが開催されます。新たな歴史を刻むため、選手たちはさらなる高みを目指して挑戦を続けます。



前田晃希主将（3年）は「全員が同じ目標に向かって取り組めた大会だったからこそ、10年ぶりのメダル獲得につながった。今回の結果に満足せず、インターハイでは全国制覇を果たしたい」と意気込みを話しました